（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 株式会社　セイカスポーツセンター ）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・経営理念については明文化し社内HP 社内掲示し毎日の朝礼時全体会議時に唱和を行い全社員が共有している。全社員が経営理念を「自分事」として捉え、日常業務で実践できる状態を目指す。具体的には、理念に基づいた行動を共有し合う「朝礼」を継続して日々行い、若手社員が自らの言葉で理念を体現・発信できる組織文化を醸成する。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・弊社の5つのクレド「行動指針」の中の1つ「COFIDENCE（信頼）」の項目で法令・ルールの遵守を心がけ企業の信頼性を大切にしフェアな会社であり続けることを1つの重要な指針として掲げている。法令順守の重要性を日々の朝礼　会議の中で共有し認識・理解を深めている。 ・「CONFIDENCE（信頼）」をより確固たるものにするため、従来の啓発活動に加え、部署ごとの「個人情報に係る点検」を年1回実施する。また、事例共有を行い、全社員が現場のルールを自律的に遵守し、高い倫理観を持って行動できる組織体制を確立する。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各店舗　施設　部門の責任者を任命し企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握し対応する体制を整備している。また緊急時の連絡体制と方法を定めている。 ・整備した体制をより実効的なものにするため、総務部からの情報発信を双方向型へ進化させ、各部門の具体的なSDGs取組事例を社内外へ積極的に公開することで、組織全体の対応力と社会への貢献度を高める総務部から社内外の事例を含め適時情報の発信と啓蒙啓発を行う																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		・「お客様の声」や行政・地域からのニーズをより深く分析し、いただいたご意見への対応結果を積極的に公開し、利用者と共に価値を創り出す「共創型のコミュニケーション」を通じて、地域になくてはならない拠点を構築する。会員さん　施設利用者　行政機関など、社会や環境に関する情報交換等を通しお互いの相互協力のうえ社会貢献に向けた取組みを進めている。 ・「お客様の声」箱を設けいただいたご意見を大事にし、双方向コミュニケーションに努め。接遇向上や業務改善に活かしている。																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●																	16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		・公正な取引に努めており全従業員がその重要性を確認している。 ・仕入先等に対し、不当な圧力、違法な対応がないか、確認している。 ・また、定期的なコミュニケーションを通じて取引の透明性を確保し、相互の信頼に基づく「対等かつクリーンなビジネスパートナーシップ」を強化する。										10							16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産(特許、商標、著作権など)については、適宜弁理士に相談を仰ぎその保護に取り組んでいる。 ・相談事項等については社内会議の場において共有し知的財産保護について意識を醸成している。 ・知的財産権の不正使用や侵害する行為は行わないことを確認し周知している。 ・SNSやデジタルツール利用時における著作権等の侵害を未然に防ぐため、従業員への事例研修を継続する。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・入社時に個人情報保護に関する研修を行い、研修後理解度テストを行い理解度を深めている。また守秘義務に関する誓約書の提出を義務付けている。 ・プライバシーマークの取得を行っている ・パソコンについてはUSBを認識しないようにしている。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 株式会社　セイカスポーツセンター ）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメントの防止に関する規定を設けハラスメントに関する相談及び苦情処理の相談窓口を設置している。 ・定期的に行われる幹部MTG　支配人MTG　リーダーMTGで教育の機会を設け差別やハラスメントに関する社内研修を適時実施している。ハラスメントのない組織となるよう全社で取り組んでいる。 ・ハラスメント防止の意識を全従業員へ定着させるため、従来の研修に加え、全社員対象に注意喚起の発信を行う。また、多様性を認め合う「心理的安全性の高い職場づくり」を推進し、ハラスメントの未然防止と、誰もが能力を最大限に発揮できる風通しの良い組織風土を構築する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤怠システムの導入により時間管理の見える化を行い業務効率化・改善につなげている。 ・有給休暇の取得奨励を実施。 ・勤務状況や休みの取得・有給休暇取得状況等を見える化し適切な労働環境確保に取り組んでいる。 【予定】・見える化された勤怠データを活用し、業務負担の平準化を推進することで所定外労働時間のさらなる削減を目指す。また、有給休暇取得率の目標を30%以上に設定し、心身ともにリフレッシュし、最大限の能力を発揮できる「働きがいのある職場環境」を構築する。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内会議において、労働災害等の事案紹介などを行い、意識の向上、啓蒙啓発を図り事故の未然防止に努めている。 ・ドライブレコーダーを全車に設置し事故防止と事故の際の検証に活用している。 ・現場での「ヒヤリハット報告」の収集とリスクアセスメントを習慣化し、従業員一人ひとりの危険予知能力を高めることで、心身ともに安全・安心に働ける職場環境を強化する。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・法令遵守を徹底し、差別的待遇は行わずに、個人面談を行い、性別や年齢によるそれぞれの強みを生かして活躍できる環境整備に努めている。 ・社員の一人ひとりの能力が十分に発揮できるよう人材育成を実施するとともに、職場での心理的安全性確保に留意した組織運営を心掛けている ・女性の活躍推進に取り組み、女性が働きやすい、子育てと仕事の両立ができるよう環境づくりを進めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新入社員、役割別、専門分野別、支配人対象の社内研修を適宜実施している。 ・研修については外部から講師を招き研修を行ったり社内で講師を育成する等の取組みを行っている。 ・従業員の成長をサポートする取組を試行錯誤しながら実践している。 ・研修体制の整備や資格取得の支援などにより、従業員へ教育の機会を提供している。 ・「自律型人材」の育成を加速させるため、従来の研修体系に加え、社員一人ひとりのキャリアビジョンに合わせた研修を拡充する。個人の成長が企業の価値向上と地域経済の発展に直結する「人的資本経営」を推進する。				4	5.5			8	9								
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・性別、入社経緯等にかかわらず各人の適正に応じた役割、能力発揮が可能な制度としている。 ・性別や入社経緯を問わず、多様な人材が管理職等の中核ポストで活躍できる環境整備と登用を強化する。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・総合スポーツクラブの運営を行っておりスタッフについても運動の習慣化を経営者自ら実践し奨励し従業員の健康維持向上を呼び掛けている。 ・朝礼・全体会議などで健康増進への取組みの啓発を行っており健康経営の環境づくりに取組んでいる。 ・自社施設の利活用をさらに促進し、全スタッフの運動習慣化（週2回以上）を支援する。また、メンタルヘルスケアや食生活支援も包括的に行い、地域に健康を届けるプロ集団として、スタッフ自身の心身の健康を高いレベルで維持・向上させる。			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	【予定】・生成AI（Gemini等）の全社的な利活用と業務プロセスの見直しにより、付加価値の低い業務を削減し、従業員がより創造的な対人サービスや地域貢献に注力できる環境を構築する。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●	次世代法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し公表している。 1.男性の育児休暇取得を促進し、取得率30%以上を目指す。 2.フルタイム労働者の法定時間外・法定休日労働時間の各月の平均を10%削減する。 3.年度初日に年次有給休暇付与日数10日以上のスタッフの年次救急休暇の取得を年平均7日以上とする。			3	4	5			8		10							
	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物について、法令に基づき適切に処理している。 ・産業廃棄物等の適切な、把握と管理及び、処理業者への依頼をおこなっている ・ワークフローによる申請業務の完全ペーパーレス化を達成し、蓄積されたデータを業務プロセスの改善に活用することで、環境負荷の低減と経営の生産性向上を同時に実現する。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 株式会社　セイカスポーツセンター ）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量を毎月把握するとともに、クールビズ、ウォームビズの実施、室内温度設定の管理、照明のLED化、休憩時間中の消灯などによりエネルギー削減に取り組んでいる。 ・社用車切り替え時には低燃費の自動車へ切り替えや減車することで、エネルギー消費量削減を目指す。 ・営業車についてはハイブリッド車を使用している。 ・これらの取組みを継続していく。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		・一年を通してオフィスカジュアルに変更する。 【予定】・全社の照明のＬＥＤ切り替えを推進していく。 ・引き続き営業車はハイブリット車を使用し、CO２削減に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・店舗で使用するティッシュペーパーをPEFC認証紙で外包装もエコな包装資材のものにすべて変更した。 ・環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。（グリーン購入法適合商　品　FSC認証紙等） ・コピー用紙は裏紙の利用を行っている。 ・また、施設内でのこれらの取り組みを会員様へ積極的に発信し、利用者と共に環境負荷低減を目指す「コミュニティ型環境活動」を展開することで、地域における商品を単に価格や品質だけで選ぶのではなく、人や社会、環境、地域に配慮した消費行動の普及に貢献する。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・自社事業活動において再生可能資源等の運搬先を再利用業者（中間処理業者）に持ち込んだり、及び社内、従業員の活動においての資源ごみの分別やレジ袋などの使用削減に努めている。 ・資源ごみの分別をさらに高度化し、リサイクル実績の可視化と再資源化率の向上に挑戦する。						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・DX化の推進によるペーパーレス化 ・再生用紙（ＦＳＣ認証紙）の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙、両面印刷の利用を促進している。 ・資源ごみの分別およびリサイクルによる資源の効率的な利用に取り組んでいる。 ・ペーパーレス化を「情報のデジタル資産化」へと進化させ、データ共有による業務の迅速化を実現する。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●													12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●							6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	・ハイブリッド車を営業車として使用している。 ・通勤の交通手段はできる限り公共交通機関利用の促進に取り組んでいる。 【予定】・送迎バスの路線の見直し　利用者の人数などを勘案しバス路線の縮小を行う。送迎バスのデータ分析による「高効率な運行ルートへの最適化」を並行して推進し、利用者の利便性と環境負荷低減を高度に両立させる。									9.4		11.2		13.1 13.3				

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 株式会社　セイカスポーツセンター ）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するためお客様の声箱を設け相談等があった場合は速やかな報告体制をとり、関連部署や関係者で共有し顧客の要望には適切な対応を図るようにしている。 ・サービス・品質向上の為、お客様の声を積極的に取組み、その内容を関係者で共有して、更なるサービス・品質向上に繋げている。 ・「お客様と共に創るサービス」を目指し、いただいたご意見への改善実施内容を館内掲示で公開するなど顧客満足度のさらなる向上と透明性の高い誠実な経営を推進する。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・建物内外の動線を確保し段差を失くし、お客様や従業員が利用しやすい環境をめざし取り組んでいる。 ・トイレは洋式化している。 ・物理的なバリアフリーに加え、ピクトグラムの活用等、多様なバックグラウンドを持つ方がストレスなく利用できる施設を目指す。また、スタッフへのユニバーサルマナー教育を徹底し、ソフト・ハード両面から「心のバリアフリー」を実践することで、誰もが自分らしく活動できる、地域に開かれた拠点としての価値を高める。									9.1	10	11.7						17
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・会員さんの送迎バスを活用し鹿児島県警と、ドライブレコーダー記録データ等の情報提供に関する協定協定を締結し、交通事故や犯罪の抑止,早期解決のための協力を行っている。 ・激震災害が起きた際には全店舗に募金箱を設置し積極的に支援活動を行っている。また、災害支援や地域行事を通じた「コミュニティの絆」の深化を継続し、社会インフラとしての役割を確立する ・FCユナイテッドのスポンサーとしてチームをサポートし地元からのJリーグチーム誕生に向け県民の皆さんとともに応援しスポーツ振興に貢献している。 ・地元町内会　関連団体　行政と連携し秋祭りを企画し恒例行事として定着させ地域共生活動に積極的に取り組んでいる。 ・企業版ふるさと納税を行い行政と課題解決への貢献企業としての新たなパートナーシップの構築（行政のスポーツ力向上推進事業支援） ・行政・警察・プロスポーツチームとの強力なパートナーシップに基づき、自社のリソース（車両・施設・専門知識）を地域課題の解決に戦略的に投入する。スポーツを通じた健康寿命延伸に貢献し、持続可能で活気ある鹿児島県づくりを官民連携でリードする。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	・専門学校、短大、大学生のインターンシップの受入れを行っている。 ・中学生の職場体験を実施している。 ・子供たちに向けて会社見学　出張授業の取組みを行っている。 ・小学生　中学生を対象に子供ガイドの取組みを行っている。（石橋記念公園の来園者に対するガイド事業）歴史　文化を知る機会接遇　プレゼンを行なう等学びの場を提供している。多様な学びの機会を通じて、郷土への誇りと発信力を備えた人材を育成し、地域社会の持続可能な発展を支える「教育のプラットフォーム」としての役割を果たす。				4				8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・地元の大学新卒者のみならず、既卒者の採用に取り組み、採用を行っている。 ・中途採用についても積極的に行い採用している。 ・多様な経歴を持つ人材が最大限に能力を発揮できるよう、フォローアップ体制の強化を行ない、多様な人材の定着と活躍を推進する。地元で働くことの価値を伝え、独自の福利厚生制度の拡充を通じて、地域で最も「働きがい」と「安心」を感じられる企業ブランドを構築する。				4.4				8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●			2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●									8			11	12			15		17